

東京オリンピックパラリンピックの運営を終えて

了徳寺大学職員柔道部監督

東京オリンピックパラリンピック競技大会組織委員会

柔道スポーツマネージャー(2016-2021)

全日本柔道連盟強化委員会副委員長(2016-2021)

山田利彦

全日本柔道連盟の推薦を受け、2016年より東京オリンピックパラリンピックにおいて柔道スポーツマネージャーを拝命した。通常の柔道大会の運営と異なり、オリンピックは33競技、パラリンピックは22競技に限られた期間に一斉に開催されることから、運輸、食事、宿泊、警備、会場整備、医療など52の部門に分かれた体制となっており、一律横並びでの準備やサービス等の提供体制がとられていた。競技ごとに諸々の条件が大きく異なり、一定のルールのもとに当てはめられている大会運営を、如何に柔道に沿ったものに調整していくかに苦慮し続けた。そして何よりもコロナウイルスの蔓延状況により大会が1年延期され、新たに細微にわたるまでのコロナ対策が必須となり、その準備や対応が更に押し掛かった。4年+1年を経て、オリンピック8日間、パラリンピック3日間と、残念ながら無観客ではあったものの、57年ぶりにオリンピック柔道の聖地である日本武道館において、再び柔道の持つ魅力を余すことなく世界中に発信することができた。コロナ禍で実施について多くの批判を浴びた大会ではあったが、実際にどのような結果をもたらしたのかについて、運営経験をもとに説明を行う。